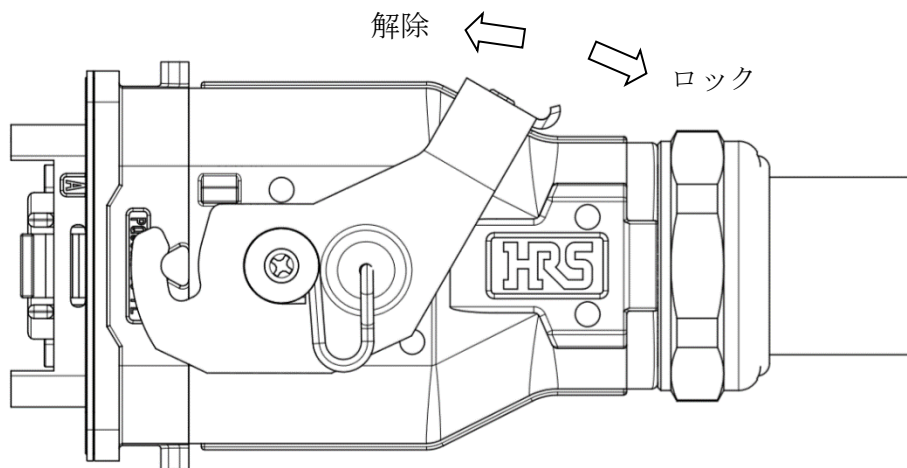


適用規格					
定 格	使用温度範囲	注1. -55℃～105℃	保存温度範囲	注2. -55℃～85℃	
	電 圧	AC 600V, DC 600V (コネクタのみ) AC 300V, DC 300V (TUV・UL時)	使用湿度範囲	－ % ～ － %	
	電 流	12.5A /ピン (AWG#16,18結線時)	適合ケーブル	AWG#16～AWG#28 (UL-STYLE:UL1007)	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観, 構造及び 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA (DC or 1000 Hz) 以下で測定する。	注3. 5mΩ 以下 (端子間)	○	－
			注3. 50mΩ 以下 (シェル間)	○	－
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	5000MΩ以上	○	－
	耐電圧	AC 3310Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	－
	温度上昇	ケーブル1芯に規定の電流を通電する。 AWG#16,18 UL1007結線時 : 12.5A/ピン	周囲温度からの上昇値が30℃以下の こと。	○	－
機 械 的 性 能	コネクタ単体挿抜力	適合端子で測定する。	挿入力 3N 以下、抜去力 0.3N 以上	○	－
	コネクタ 総合挿抜力	適合 コネクタで測定する。 ロックレバー解除状態にて測定する。 (全端子結線時)	挿入力 138N 以下、抜去力 13.8N 以上	○	－
	端子固定力 (ランス固定強度)	ケーブル軸方向に25mm/minの速度で引張り 端子が抜けた時の荷重値を測定する。	29.4N 以上	○	－
	導体圧着部強度	下記端子・ケーブルごとで導体部のみ圧着結線し、 引っ張り力を加えた時、保持力は規格値以上の こと。 ① PQ50S* -1618*CFA (AWG#16 UL1007結線) ② PQ50S* -1822*CFA (AWG#18 UL1007結線) ③ PQ50S* -2428*CFA (AWG#24 UL1007結線)	① 133.5N 以上 ② 89.0N 以上 ③ 22.3N 以上	○	－
	ロック強度	レバーをレセプタクル側にロックした 状態で、かん合軸方向に98N(1分間)プラグ側に 引抜力を加える。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	－
注1. ①動作の保証できる範囲は人の活動できる温度としています。 ②使用温度範囲は通電による温度上昇も含みます。 ③適合ハウジングに結線した状態での値となります。					
注2. 梱包材は含みません。					
注3. ケーブルの導体抵抗は含みません。					
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△					
備考			承認	KH. IKEDA	20190129
上記規格値は適合コンタクトを組み込んだ、PQ50WAシリーズでの性能を示す。 その他のシリーズに使用する場合は各シリーズでの性能とする。 試験規格の記載のない試験方法は、IEC 60512(対応規格 JIS C 5402)を 適用している。			検 図	TU. TANIGUCHI	20190129
			担 当	TY. MIURA	20190129
			製 図	TY. MIURA	20190129
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC-129676-00-00		
HRS	製 品 規 格 表		製品名	PQ50WA-1U-FL	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL236-2119-0-00	△ 1/3

性能					
項目		試験方法	規格	QT	AT
機械的 性能	レバー操作力	レセプタクル側にレバーをロックする方向に力を加えた際のロック力。 及びレバーを解除する方向に力を加えた際のレバー解除力。	レバーロック力 : 147N max. レバーロック解除力 : 147N max.	○	—
	ケーブルクランプ力	ケーブルをクランプした状態でかん合軸方向に、98N(1分間) ケーブルに引抜力を加える。	①端子が保持されていること。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	繰り返し動作	100 回の抜き差しを行う。	注3. ①端子接触抵抗変化量: 20 mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10 ~ 55 Hz, 片振幅 0.75 mm, 3 方向各 2 時間試験する。(付図2参照)	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 6 軸方向各 3 回試験する。	①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
環境 性能	温度サイクル	温度 -55 → 15~35 → 105 → 15~35 °C 時間 30 → 2~3 → 30 → 2~3 分 を 5 サイクル試験する。	注3. ①端子接触抵抗変化量: 20 mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐熱性	温度 105 °C±2°C 中 96 時間放置する。 (かん合放置)	注3. ①端子接触抵抗変化量: 20 mΩ以下 ②絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐寒性	温度 -55°C±3°C 中 96 時間放置する。 (かん合放置)	注3. ①端子接触抵抗変化量: 20 mΩ以下 ②絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐湿性	温度 60 °C±2°C, 湿度 90 ~ 95 %中に 96 時間放置する。 (かん合放置)	注3. ①端子接触抵抗変化量: 20 mΩ以下 ②絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 (乾燥後) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	混合ガス	SO ₂ 10 ppm, H ₂ S 3 ppm, 湿度 70 ~ 80 % 中に 24 時間放置する。(かん合放置)	機能を損なうようなはなはだしい腐食がないこと。	○	—
	防塵・防適性	コネクタをかん合させ、直径1.0mmの検査用プローブが進入しないこと。また、機器に対しいかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響のないこと。	IP65 以上	○	—

付 図

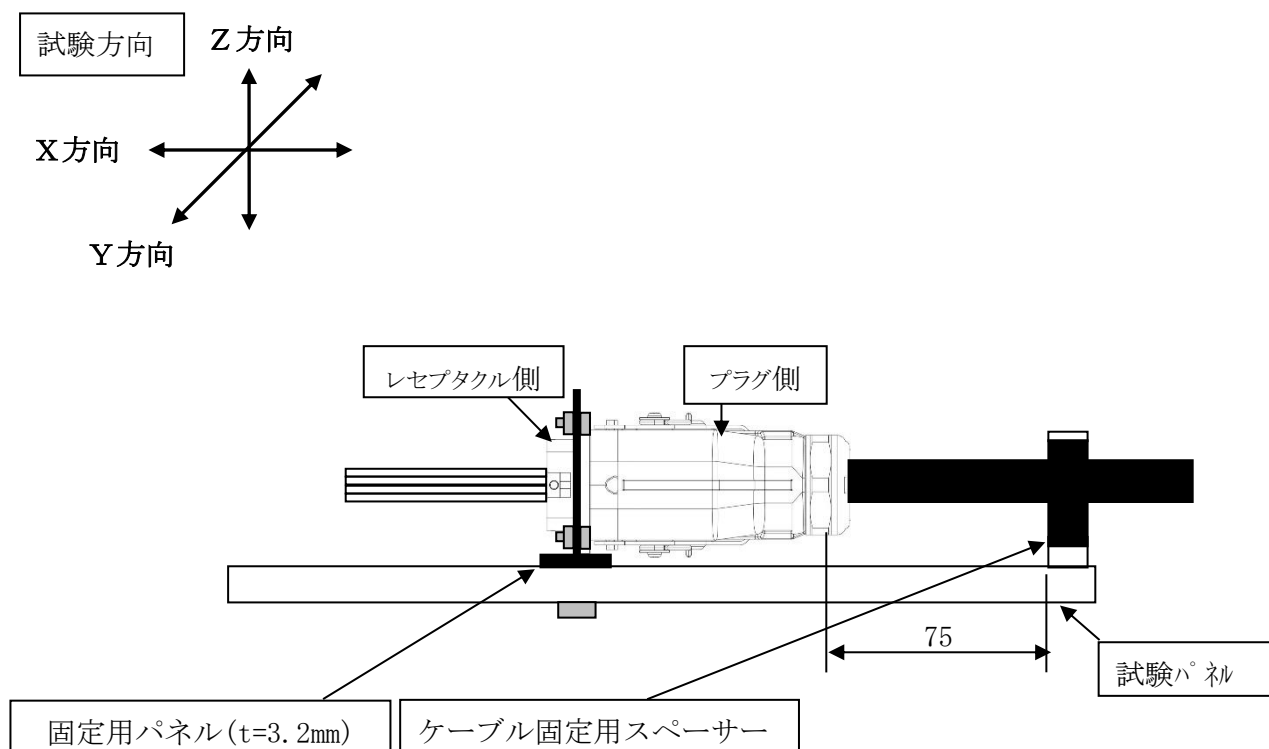
付図1. レバー操作力



注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC-129676-00-00		
HRS	製品規格表	製品名	PQ50WA-1U-FL		
	ヒロセ電機株式会社	製品コード	CL236-2119-0-00	△	2/3

付 図

付図 2. 振動試験方法概略図（側面）



注 QT:確認試験 AT:製品検査 O:適用項目		図番	SLC-129676-00-00		
HRS	製品規格表		製品名	PQ50WA-1U-FL	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL236-2119-0-00	 3/3